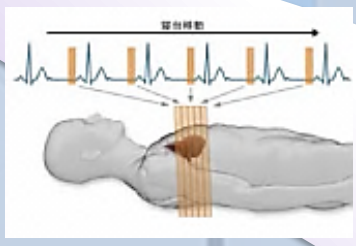
心電図を解析しながら行う心臓･冠動脈 CT や、
大腸内視鏡検査を受けた時のような画像が得られる
大腸 CT(3D-CT)の検査も新たに加わり、
幅広い検査に対応できるようになりました。

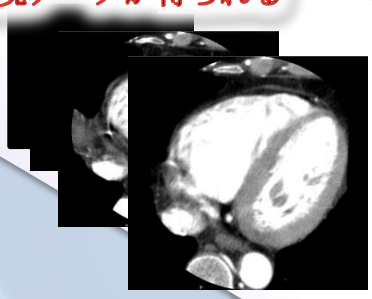
心臓・冠動脈 CT

心臓･冠動脈 CT は心電図と同期することで、
動き続ける心臓を静止したような画像として
抽出できる検査です。
冠動脈の狭窄の診断に用いられます。

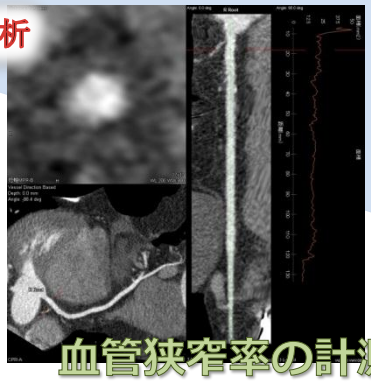


心電図の同じ位相を
データ収集することで

静止した心臓の
再現データが得られる



解析



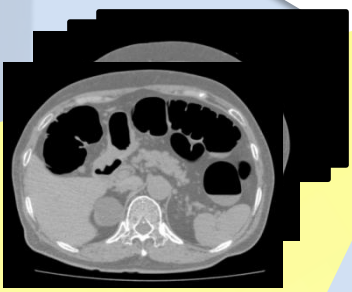
血管狭窄率の計測

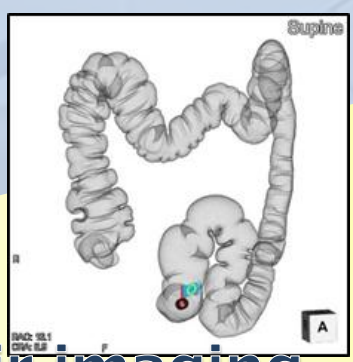
解析

3D 画像

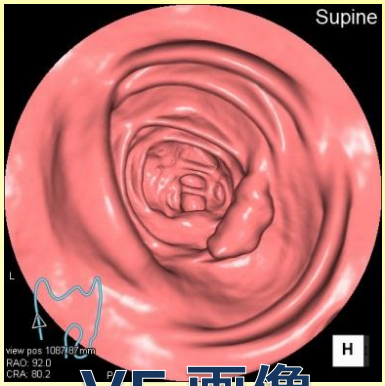
大腸 CT(3D-CT)

大腸 CT は炭酸ガスで膨らませた状態の腹部を撮影し、
大腸を観察する新しい検査法です。
撮影データは解析処理することで、内視鏡で
観察したような画像など、様々な画像が作成できます。

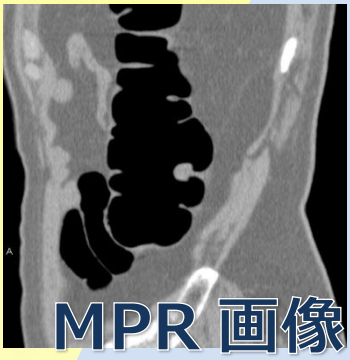




Air imaging
【注腸検査様像】



VE 画像
【仮想内視鏡像】



MPR 画像
【任意方向断面像】